ひと・まち・ゆめをつなぐ 広報東広島
ひがしひろしま
2022年3月号

東広島で働く×暮らす

東広島市には、夢や目標に向かって新たな可能性を見いだし、活躍している人がたくさん暮らしています。今回は、「働く」場所として東広島を選び、自分らしく輝いている人たちをクローズアップ。活躍の場に東広島を選んだきっかけを伺いました。

問 広報戦略監　☎(082)420-0919

CONTENTS

2　特集　東広島が好き だから選びました

6　TOPICS
新型コロナワクチンの接種について／犬の登録・注射は飼い主の義務です／市民課窓口業務のお知らせ／水道の使用中止・開始の手続きはお済みですか　など

8　子育て応援隊
特別支援教育就学奨励制度／麻しん風しん予防接種はお済みですか？／就学援助制度　など

11　HIGASHIHIROSHIMA event
中央生涯学習センターまつり2022／Z世代と考えるSDGsの現在・未来／美術館特別展「グランマ・モーゼス展－素敵な100年人生」前売り券発売中　など

16　東広島生活情報局
東広島市DX戦略（案）に係るパブリックコメント／東広島熟年大学／地形図等の店舗販売の終了とデジタルデータ公開／東広島市役所本館10階食堂の休業／携帯電話の電波状況調査／高齢者割引乗車券（タクシー・バス）の利用制限／福祉助成券　など

24　相談室

26　夜間休日救急当番医

28　自分の描く未来へ スタート！

日…日時・期間　場…場所　内…内容
対…対象者　定…定員　相…相談員
料…料金・費用　持…持参物
締…締め切り　申…申込方法・申込先
問…問い合わせ先　☎…電話番号
FAX…FAX番号　メール…Eメール
URL…インターネットアドレス
※料金の記載のないものは無料
※申込方法の記載のないものは申込不要
※本紙に掲載した記事の最新情報は市ホームページをご覧ください。

学生生活を送ったまちが今は仕事のフィールド

東広島ケーブルメディア
制作部　サブリーダー　山岡 明（さやか）さん

夢をつかんだ東広島で情報発信のプロとして活躍

小学生の頃、テレビ局で番組制作をすることが夢だった山岡さん。愛媛県から市内の大学に進学し、在学中に、大学生が制作するラジオ番組に携わり「人の思いに触れるインタビューがしたい」と感じ、東広島ケーブルメディアに入社。5年目を迎え、取材、撮影のほか、編集作業からアナウンサーとしての番組出演まで、幅広く活躍しています。

令和2年5月、市内の大学生から「高齢者のために家でもできる体操動画を作ったので、放送してほしい」と依頼がありました。さっそく視聴した山岡さんは、地域の人のために本気で取り組む大学生たちに感動し、体操の動画を放送することを決意。大学生の温かい思いは視聴者の心に届き、視聴者からは感謝の言葉が寄せられました。「放送に、人と人の心をつなぐ力を感じた」と振り返ります。

「知らない場所や知らないことがたくさんあり、まだまだ私が制作すべき番組があると思っています」と前向きな山岡さん。かつてラジオ番組を制作していた大学生は、同じ地で夢をかなえ、今はプロの目で東広島を見つめています。

地域の皆さんと一緒につくりあげる放送を

たくさんの人に出演してもらったり、時には視聴者さんに撮影してもらい一緒に番組を制作したり。地域密着のケーブルテレビだからこそできる放送で、地域のつながりを深めていきたいです。

ディレクターを務めた「酒都に響き渡る伝統～オペラ『白壁の街』第40代の軌跡～」は、第47回日本ケーブルテレビ大賞番組アワードで準グランプリを受賞

山岡さんにズバリ聞きました！

Q 学生時代を過ごしたまちで就職して、一番良かったことは何ですか？

A 取材先で「東広島の大学出身です」と話すと、地域の人に受け入れられやすいことですね。

Q 学生時代に経験したことで、今も生きているものはありますか？

A ディベートの授業で、簡潔に分かりやすく、正しい情報を伝えようと取り組んだ経験です。

Q 東広島で働きたいと思っている人にエールをお願いします。

A 日々、地域と関わりながら成長させてもらっています。今はこのまちが第二のふるさと。東広島が好きな人には、市内で就職してみてほしいです。

聞き手：奥原彩良（広島大学1年）

大切な人が住むふるさとで消防士として貢献したい

東広島消防署 安芸津分署
消防士 福島 雅人

人とのつながりが多い東広島での仕事と子育て

福島消防士は東京消防庁に入庁しましたが、「生まれ育った東広島で仕事がしたい」と、Uターン。現在は東広島消防署員として活躍中です。

「現場に駆け付けると近所の人が情報を教えてくれるなど、つながりの強さを感じます。日常で接する人の数は東京よりも東広島の方が多い」。Uターン後に結婚、わが子の誕生をきっかけに、自然あふれる東広島の良さに改めて気づいたそうです。

「かっこいい！」と言ってくれる長男の言葉も力に変え、これからも東広島を守っていきます。

東広島初心者でも安心子育て

妻の真子さんは広島市出身。「知らない土地での初めての子育ては不安でしたが、子育て支援センターで友人ができ、スタッフの方とも親しくなり安心して子育てしています。高速道路を使えば実家にすぐに帰れる、アクセスの良さも気に入っています。」

「住みたい場所でやりたい仕事を」次のステージは大好きな地元でした

ベバスト ジャパン
業務改善推進
重久 孝介さん

子どもたちとのレジャーを十分楽しんでいます。東広島には、香港や関東では見られなかった緑があふれ「目の前に自然があるって特別なんだな」と思いました。

グローバルな仕事こそどこにいてもできる

東京のコンサルティング会社に勤務していた重久さん（高屋町出身）。赴任先の香港では1年間家族と暮らしていましたが、多忙を極め、子育てにはほとんど関われなかったと振り返ります。家族は2人目の子どもの誕生を前に、実家のある広島へ。前職では、自分の意思ではなく会社の価値観の中で生きているようだと感じていた重久さんは、自分にとって大切なもの、頑張れるもののために生きていこうと、家族が待つ広島に戻ることを決意。

「グローバルな経験こそが自分の価値。地元に本社があり、世界を相手に頑張っている会社で貢献したい」と、平成26年、東広島に本社があるベバスト ジャパンに転職。名前と顔が一致する会社規模と、社内の一体感が気に入っているそうです。現在、グローバルな経験を生かし、東広島でドイツ本社、アジア各国のメンバーとも仕事をしています。

「リモートの普及で、『仕事のために東京へ行く』という時代は変わりつつあります。住みたい場所で、好きな仕事をしませんか」と笑顔で話してくれました。

学生時代から抱いていた夢を水に恵まれた西条で実現

cocoron（ココロン）
店主 林 直史さん・早織さん

豊かな自然の恩恵はパンの味と家族の健康

福井県から、市内の大学へ進学した林さん。「広島で食べたパンのおいしさに魅せられ、パン屋でアルバイトを始めました」と当時を振り返ります。卒業後は関東でエンジニアとして働きながら、パン屋巡りをしたり、パンを焼いたり。「自分の店を開きたい」という思いが、募っていったそうです。

結婚して家族ができた後、わが子の喘息が悪化したため、きれいな水と空気を求めて、大学時代に過ごした東広島への移住を決意。妻、早織さんの後押しもあり、平成28年に念願のパン屋「ｃｏｃｏｒｏｎ」を西条にオープン。パン作りだけでなく健康面においても、東広島の自然の恩恵を受けていると言います。

林さんが目指すのは、「他の料理と一緒に食べても、邪魔をしないけれど、食べた後、甘い余韻が残るパン」。今日も「ｃｏｃｏｒｏｎ」には、夫婦で作る焼きたてのパンとお客さんの笑顔があります。

若い人の姿が多く見られ、働く場所があるまちなんだと実感しています。

移住者が多いことが住みやすさの証し

「コロナ禍でも、『また来ますね』『パンを焼き続けてくれてありがとう』などお客様の優しい言葉や励ましに支えられて、頑張っています」と早織さん。周囲に移住者が多いのは、やっぱり住みやすいまちだからだと思います」と笑顔で語ってくれました。

今回の広報紙特集に関するアンケートにご協力ください。

東広島で働きがいを見つけませんか

企業紹介動画「Good JOB東広島!!」をチェック

東広島にある、魅力的な企業を動画で紹介しています。気になる企業や、知らなかった企業の動画を見て、就職活動に役立ててください。「働く社員の生の声」も聞けるので、事前に社風や雰囲気を知ることができますよ。

市内の企業で、あなたが輝ける場所を見つけてみませんか。